

みかきもり 衛士のたぐ

軽く力をぬいて
続ける
久々々々々

火の夜は燃え 昼は消え

え 初夜

了物をこそ思へ

中一ニ三

宮中の諸門を守る衛士の焚くかがり
火が、夜は燃えており昼は消えてい
るかの様に毎日、夜は恋心が燃え
上がり、昼は魂が消えるほど、恋の
思いに悩んでいることよ。

大中臣能宣朝臣 (五〇番)